

分類：臨床医学 VII (CC2)

授業科目名：法医学 臨床実習 (Forensic Medicine) - 法医解剖実習 -

対象学年：6年次選択

時間割コード：71644006-01

1. 主任教員

美作宗太郎 (教授、法医学講座、6092、オフィスアワー：随時 (要アポイント))

2. 担当教員

美作宗太郎 (教授、法医学講座、6092、オフィスアワー：随時 (要アポイント))

大谷真紀 (助教、法医学講座、6093、オフィスアワー：随時 (要アポイント))

3. 授業のねらい及び概要 (学修目標)

1. ねらい

法医解剖を通じて、将来どのような分野の医師になっても役立つ基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を修得する。また、関連するプロフェッショナリズム、医療行動科学、医の倫理、医療安全、医療法 (医療制度)、EBM について実践的に学ぶ。

2. 概要

・法医解剖の現場に立ち会い、法医解剖執刀医を中心としたチームの一員として、警察官等の司法関係者ととも死因究明の実習に取り組む。

・法医解剖、CT 画像、諸検査の結果から死因を診断するプロセスを学ぶ。

・警察官等の司法関係者に医学知識を分かりやすく伝える訓練を行う。

・法医解剖症例の解剖所見や死因判断のプロセスについて、法医 CT カンファレンス等で分かりやすく発表する技術を学ぶ。

・法医解剖症例を通じて、死因究明の枠を越えて死を見つめ直すとともに、法医診断における公平性・透明性の確保、守秘義務の厳守、死者や家族を取り巻く環境の検討、家族や警察官に死因をどのように説明するか、どうすれば死を防ぐことができたのか、法医解剖・検査における倫理的問題、医療関連死を防ぐ工夫、死を取り巻く社会のシステム、死因判断のためのエビデンス等について学ぶ。

3. 講義内容・具体的到達目標・学修目標

1) 司法解剖・承諾解剖・死体検案において、所見を説明し、死因を診断できる。

2) 死後 CT 画像を読影して、所見を説明できる。

3) 死因診断した結果に基づき、死亡診断書・死体検案書等の書類を適切に作成できる。

4) 法医学領域に関連するプロフェッショナリズム (法医診断における公平性・透明性の確保、守秘義務の厳守等) について説明できる。

5) 法医学領域に関連する医療行動科学 (死者や家族を取り巻く環境の検討、家族や警察官に死因をどのように説明するか、どうすれば死を防ぐことができたのか等) について説明できる。

6) 法医学領域に関連する医療倫理 (法医解剖・検査における倫理的問題等) について説明できる。

7) 法医学領域に関連する医療安全 (医療関連死を防ぐ工夫等) について説明できる。

8) 法医学領域に関連する医療法 (医療制度) (死を取り巻く社会のシステム等) について説明できる。

9) 法医学領域に関連する EBM (死因判断のためのエビデンス等) について説明できる。

本科目は実務経験のある教員による授業科目です。

4. 教科書・参考書

・池田典昭・木下博之編「標準法医学 第8版」医学書院 (2022年)

・福島弘文監修「法医学改訂4版」南山堂 (2022年)

- ・高取健彦監修「NEW エッセンシャル法医学 第6版」医歯薬出版（2019年）
- ・美作宗太郎監修「臨床法医学入門」明石書店（2017年）

5. 成績評価の方法

態度，口頭試問，その他（法医解剖参加率、カンファレンス等への出席など）

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

- ・臨床実習と同様に守秘義務の厳守が求められる。
- ・法医解剖の補助や諸検査の際は常に感染防止に注意を払うこと。
- ・社会人としての礼儀とマナーを身につけ、特に警察官等の学外者への挨拶は欠かさず、言葉遣いに注意すること。
- ・実習場所：法医科学講座ゼミナール室、法医解剖室、法医CT室など
- ・法医解剖は夜間・休日に行われることもある。常時呼び出しをするので、期間中に不在になる日がある場合は事前に相談すること。
- ・特に指示がない場合は、初日は午前9時に法医科学講座ゼミナール室に集合して、法医解剖に関する説明を受けること。

法医学 臨床実習

授 業 展 開	授 業 内 容
第 1 回 月曜日 [9:00-17:00] 副題 法医解剖または関連検査 担当 美作宗太郎・大谷真紀	<ul style="list-style-type: none"> ・法医解剖に関する説明を受ける。 ・法医解剖や関連検査などの法医実務が行われる時間は、原則として全ての症例において補助として参加する。 ・法医解剖では、死因に至るプロセスを徹底的に学び、死亡診断書・死体検案書の記載を復習する。 ・警察官等の司法関係者に医学知識を分かりやすく伝える訓練を行う。 ・法医解剖症例の解剖所見や死因判断のプロセスについて、法医 CT カンファレンス等で分かりやすく発表する技術を学ぶ。
第 2 回 火曜日 [9:00-17:00] 副題 法医解剖または関連検査 担当 美作宗太郎・大谷真紀	<ul style="list-style-type: none"> ・法医解剖や関連検査などの法医実務が行われる時間は、原則として全ての症例において補助として参加する。 ・法医解剖では、死因に至るプロセスを徹底的に学び、死亡診断書・死体検案書の記載を復習する。 ・警察官等の司法関係者に医学知識を分かりやすく伝える訓練を行う。 ・法医解剖症例の解剖所見や死因判断のプロセスについて、法医 CT カンファレンス等で分かりやすく発表する技術を学ぶ。
第 3 回 水曜日 [9:00-17:00] 副題 法医解剖または関連検査 担当 美作宗太郎・大谷真紀	<ul style="list-style-type: none"> ・法医解剖や関連検査などの法医実務が行われる時間は、原則として全ての症例において補助として参加する。 ・法医解剖では、死因に至るプロセスを徹底的に学び、死亡診断書・死体検案書の記載を復習する。 ・警察官等の司法関係者に医学知識を分かりやすく伝える訓練を行う。 ・法医解剖症例の解剖所見や死因判断のプロセスについて、法医 CT カンファレンス等で分かりやすく発表する技術を学ぶ。 ・週によっては 18 時から法医 CT カンファレンスを行うことがある。
第 4 回 木曜日 [9:00-17:00] 副題 法医解剖または関連検査 担当 美作宗太郎・大谷真紀	<ul style="list-style-type: none"> ・法医解剖や関連検査などの法医実務が行われる時間は、原則として全ての症例において補助として参加する。 ・法医解剖では、死因に至るプロセスを徹底的に学び、死亡診断書・死体検案書の記載を復習する。 ・警察官等の司法関係者に医学知識を分かりやすく伝える訓練を行う。 ・法医解剖症例の解剖所見や死因判断のプロセスについて、法医 CT カンファレンス等で分かりやすく発表する技術を学ぶ。
第 5 回 金曜日 [9:00-17:00] 副題 法医解剖または関連検査 担当 美作宗太郎・大谷真紀	<ul style="list-style-type: none"> ・法医解剖や関連検査などの法医実務が行われる時間は、原則として全ての症例において補助として参加する。 ・法医解剖では、死因に至るプロセスを徹底的に学び、死亡診断書・死体検案書の記載を復習する。 ・警察官等の司法関係者に医学知識を分かりやすく伝える訓練を行う。 ・法医解剖症例の解剖所見や死因判断のプロセスについて、法医 CT カンファレンス等で分かりやすく発表する技術を学ぶ。
第 6 回 月曜日 [9:00-17:00] 副題 法医解剖または関連検査 担当 美作宗太郎・大谷真紀	法医解剖や関連検査などの法医実務が行われる時間は、原則として全ての症例において補助として参加する。 法医解剖では、死因に至るプロセスを徹底的に学び、死亡診断書・死体検案書の記載を復習する。
第 7 回 火曜日 [9:00-17:00] 副題 法医解剖または関連検査 担当 美作宗太郎・大谷真紀	法医解剖や関連検査などの法医実務が行われる時間は、原則として全ての症例において補助として参加する。 法医解剖では、死因に至るプロセスを徹底的に学び、死亡診断書・死体検案書の記載を復習する。
第 8 回 水曜日 [9:00-17:00] 副題 法医解剖または関連検査 担当 美作宗太郎・大谷真紀	法医解剖や関連検査などの法医実務が行われる時間は、原則として全ての症例において補助として参加する。 法医解剖では、死因に至るプロセスを徹底的に学び、死亡診断書・死体検案書の記載を復習する。 週によっては 18 時から法医 CT カンファレンスを行うことがある。
第 9 回 木曜日 [9:00-17:00] 副題 法医解剖または関連検査 担当 美作宗太郎・大谷真紀	法医解剖や関連検査などの法医実務が行われる時間は、原則として全ての症例において補助として参加する。 法医解剖では、死因に至るプロセスを徹底的に学び、死亡診断書・死体検案書の記載を復習する。
第 10 回 金曜日 [9:00-17:00] 副題 法医解剖または関連検査 担当 美作宗太郎・大谷真紀	法医解剖や関連検査などの法医実務が行われる時間は、原則として全ての症例において補助として参加する。 法医解剖では、死因に至るプロセスを徹底的に学び、死亡診断書・死体検案書の記載を復習する。

法医学 臨床実習

授 業 展 開	授 業 内 容
第 24 回 木曜日 [9:00-17:00] 副題 法医解剖または関連検査 担当 美作宗太郎・大谷真紀	法医解剖や関連検査などの法医実務が行われる時間は、原則として全ての症例において補助として参加する。 法医解剖では、死因に至るプロセスを徹底的に学び、死亡診断書・死体検案書の記載を復習する。
第 25 回 金曜日 [9:00-17:00] 副題 法医解剖または関連検査 担当 美作宗太郎・大谷真紀	法医解剖や関連検査などの法医実務が行われる時間は、原則として全ての症例において補助として参加する。 法医解剖では、死因に至るプロセスを徹底的に学び、死亡診断書・死体検案書の記載を復習する。